

長久手市行政評価票

事業番号	26	事業の名称	自然環境調査事業	担当部署	部	課
					市民生活部	環境課

事業の目的・概要	(目的) 第3次環境基本計画の3つの柱の一つ「多様な生物が人と共存する自然共生社会の構築」を目指し、市内の自然環境データを蓄積する。 (概要) 市内の自然環境データを蓄積するため、現地踏査や市民参加調査を実施する。	他市町の実施状況 (近隣市町や先進都市の状況を具体的に記載)	日進市:平成13年度～平成14年度 尾張旭市:平成11年度 春日井市:平成18年度～平成21年度 豊田市:平成13年度～平成15年度	
	事業期間		事業開始年度	平成24年度

事業の対象 (だれ、何に対して)	長久手市域	事業の意図 (対象をどのような状態にしたいか)	自然環境データが継続して蓄積できるようにする。	総事業費	総事業費 (単位:千円)	H23予算	H23決算	H24予算	H24決算	H25予算
					うち	一般財源	0	0	12,390	12,384
					国費・県費			12,390	12,384	
					地方債					
					受益者負担額					

評価の見方	
A	現行どおり実施
B	事業の改善
C	他事業と統合
D	運営主体の見直し
E	事業の廃止の検討

事業を構成する 事務事業	対象 (だれ、何に に対して)	目的		事務事業の 実施結果	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段 (いつ、どのような手段を使って) 4月～ 7月～ 10月～ 1月～	意図 (対象をどのような状態にしたいか)		成果指標	H23実績	H24実績	単位	成果指標の目標値 設定の根拠	H23予算	H23決算	H24決算の主な内訳 (単位:千円)	評価	評価の説明
						H24目標値	H24予算		H24決算	H25予算	成果			
① (緊急雇用)長久手市自然環境調査業務委託	長久手市域	 現地踏査や市民参加調査を実施することで	自然環境データが継続して蓄積できるようにする	現地踏査 307回 市民参加調査 参加者延46人 蓄積したデータ件数 植物 1,750件 動物 837件	—	2,587	件	現地踏査や市民参加調査により、自然環境データの情報が収集できるため。	12,390	12,384	(緊急雇用)長久手市自然環境調査業務委託12,384	A	今年度は緊急雇用で実施したが、来年度以降は、今年度の結果をもとに、重点箇所の追跡調査を実施したり、より多くの市民が調査に参加いただけるよう周知・啓発に努める。	
②														
③														
④														

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容	H25以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
				結果報告会(シンポジウム)	平成24年度に実施した調査結果をもとに、監修者や調査員が解説する。そして、希少種や外来種の状況を市民に知らせることで、自然環境保全に対する知識や理解を深める。